

コード	503020101
記入日	H24.6.8

課コード	125
課名	生涯学習課
課長名	西川 義男
担当者	前田 哲嘉

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	少年スポーツ団体活動補助事業
----------	----------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	5	政策名称	しまの誇り・文化の育成	款コード	10
施策コード	503	施策名称	スポーツ・レクリエーションの充実	項コード	6
基本事業コード	50302	基本事業名称	生涯スポーツの振興とスポーツによる交流	目コード	1
事務事業コード	5030201	事務事業名称	各スポーツクラブの連携事業費	細目コード	1012
関連計画		法令・条例規則等	新上五島町少年スポーツ団体活動補助金交付要綱		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	小・中学生で組織されたスポーツ団体	(対象指標1)	46団体			
(対象2)	少年スポーツ団体加入者	(対象指標2)	738人			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・補助対象団体である46団体から補助金の交付申請があり、内容を審査し活動費の支援として補助金を交付した。	*****	*****	*****	補助金交付件数÷ 補助金申請件数	*****
		①	補助金交付件数	46件	100%	
		(達成率分析)	46団体から交付申請があり、内容を審査し全ての団体へ交付した。			
		②				
		(達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・スポーツを通じての仲間づくりと心身の健全な発達を促進し、自主的活動をする少年スポーツ団体育成のため、活動費の一部を助成し、小学生のスポーツ人口の増加を図り、町民総スポーツの振興に寄与することを目的としている。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		①	*****	*****	*****	加入者数÷ 加入目標数
		加入者数	738人	88.9%		平成23年度
		(達成率分析)	小学生1,250人のうち、830人を加入目標としたが達成できなかった。			
		②				
		(達成率分析)				

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		22年度以前	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	259	259	213	46	46				
	②									
成果指標	① 人	4,254	4,162	3,424	830	738				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	15,220	15,220	12,265	2,955	2,955				
直接事業費 A	千円	8,220	8,220	6,665	1,555	1,555				
人件費 B	千円	7,000	7,000	5,600	1,400	1,400				
内訳	従事職員数	人	1.0	1.0	0.8	0.2				
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円								
	その他	千円								
一般財源	千円	15,220	15,220	12,265	2,955	2,955				

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	時代の変化に関係なく、住民の体力づくりの推進は町が支援すべきものである。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	自主的活動が浸透してきた。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理 由	少年スポーツ団体の更なる組織強化を図ることで、生涯スポーツの基礎となる。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	少年スポーツ団体の組織の充実、健全な育成に効果が得られている。
		・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。	代えられる ● 代えられ ない	理 由	現在、必要最小限の予算で実施している。

**改善 ( ACTION )**

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2 次 評 価	地区・地域での児童生徒数の減もあるが、スポーツを通した子ども達の健全育成に大きく関与するもので、今後もスポーツ団体の育成に努めること。
------------------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	
	●	●		このまま事業を継続
				事業内容を見直して事業を継続
				事業費を見直して事業を継続
	1次	2次	3次	
				類似事業と整理統合
				事業の休止
				事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。